教科 図画工作 学年 第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元の前まじりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
絵の具と水のハーモニー	8	○筆の使い方や水の量を工夫しよう。 ○絵の具遊びから、描きたいことを考えよう。 ○絵の具で描くことをたのしもう。	○筆の動かし方や水の量を絵にすることによって、あらわれる形や色などの感じの変化を理解している。 ○水彩絵の具を使ってできる様々な形や色の感じ、動かし方による筆の跡の違いなど、いろいろな表し方を工夫している。	絵の具遊びで描いた形や色の感じをもとに、好きな形や色、描く心地よさを思いを広げて、表したい感じについて考えている。	水彩絵の具でいろいろな描き方を試し、描く心地よさを味わい、表すことを楽しもうとしている。
ふわふわ空気つんでつなげて	2	○空気を入れたビニール袋の積み方やつなぎ方を工夫する。 ○空気を入れたビニール袋で、どんなことができるか考える。 ○ビニール袋のふわふわした心地よさをたのしむ。	○膨らませたビニール袋を積みだりつなげたりしながら活動を思いつき、どのように活動するか考えている。 ○膨らませたビニール袋の積み方やつなぎ方など、体全体を動かして、活動をつくりだして考えている。	○膨らませたビニール袋を積みだりつなげたりしながら活動を思いつき、どのように活動するか考えている。 ○膨らませたビニール袋の形や色、感触、場所などの感じについて、感じ取ったり味わったりして、自分の見方や感じ方を広げている。	膨らませたビニール袋の感触などの心地よさを味わい、表現する学習活動に進んで取り組もうとしている。
生まれかわったなまたち	4	○材料の形や色を生かした組み合わせ方を工夫する。 ○いろいろな布の形や色からつくりたい仲間を考える。 ○集めた材料から仲間をつくることをたのしむ。	○材料に触れたり変化させたりして表す形や色の組み合わせの感じがわかっていく。 ○材料を変化させることを試しながら、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	○材料を変化させて表す形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○材料を変化させて表す形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	材料を変化させて表すことに関心をもち、立体的に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
カラフルねん土でマイグッツ	4	○カラフル粘土を使って、つくり方を工夫する。 ○カラフル粘土と空き容器を組み合わせて、たのしく使えるものを考える。 ○カラフル粘土でつくることをたのしむ。	カラフル粘土でできる形や色の感じや自分のイメージから、使ったのしむものについて、どのように表すか考えている。	つくりだしたものを生活の中で使うことから、形や色のよさや美しさ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	つくる喜びを味わい、カラフル粘土で使ったのしむものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
かげのへんしん	2	○材料の形や組み合わせから影の表し方を工夫する。 ○影の形から、表したいことを考える。 ○友達と協力して、影を表現させることをたのしむ。	○影との関わりを通して、影の形や変化した感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。 ○見つけた影をもとに、影をつけたらり組み合わせたりする。	○影との関わりを通して、影の形や変化した感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。 ○さまざまな影のよさや面白さを味わい、自分の見方や感じ方を広げている。	友達と協力しながら、影を変化させる学習活動に進んで取り組もうとしている。
光サンドイッチ	6	○光を通す材料の形や色の組み合わせ方を工夫する。 ○光を通した材料からつくりたい飾りを作る。 ○光にかざしたときの材料の美しさをたのしむ。	光を通した材料の形や色の感じや組み合わせから感じたことをもとに表したい飾りについて、どのように表すか考えている。	光を通した材料の形や色に着目し、自分や友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	光を通したときの材料や飾りの美しさを味わい、飾りをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
すてきな色ですてきな花を	2	色の組み合わせ方や筆の使い方を工夫する。 見つけた花の形や色をもとに、表したい感じを考える。 好きな色の絵の具をたぶりつけて描くことをたのしむ。	花の形や色、匂いなど、感じたことをもとに、自分の表したい花の形や色を見つけ、どのように表すか考えている。	絵の具の色の組み合わせ方や筆の動かし方の工夫によって、表れる形や色などのよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	描く心地よさを味わい、好きな色で花を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
ようこそ！アミアミワールド	4	場所に合った網の使い方を工夫する。 網をいろいろな場所につなげる。網を使って、友達と協力して活動する。	○網に触れたり、場所に関わりながら、その形や色などの感じがわかっていく。 ○網を広げたり、ねじったり、くんだり、結んだりして手や体全体を十分に動かして、活動を工夫している。	○大きな網をいろいろな場所につなげる。網を広げ、活動する。活動のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。 ○自分や友達の活動のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	友達と協力しながら、網を使った学習活動に進んで取り組もうとしている。
みんなでつくろうねん土ランド	4	粘土でできることを生かして、立体的な表し方を工夫する。 どんなねん土ランドにしたいのか考える。 友達とアイデアを出し合いながら、つくることをたのしむ。	○友達と協力しながら、網を使った学習活動に進んで取り組もうとしている。 ○握る、ひねる、積み上げる、つなげるなど、手のさまざまな部分を使い、粘土の表し方を工夫して表している。	○粘土の感触や動きが活かされた形などからイメージを広げ、表したい「ねん土ランド」を思いつき、どのように表すか考えている。 ○つくりながら自分や友達の表し方のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	自他の感覚やイメージを共有しながら、友達と協力し、粘土でつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
ためしてあそんでマグネット	4	動きの感じに合わせて、形や色を工夫する。 動きを試しながらつくりたいものを見つける。 磁石の力を感じて、たのしみながらつくる。	○磁石の動きをもとに箱や色紙など身辺材料を組み合わせた感じや動きの特徴がわかっていく。 ○箱や色紙などの材料や用具を適切に扱って、手や体全体を十分に動かして、自分の表したいおもちゃに合わせて表し方を工夫して表している。	○箱や色紙、身辺材料などの組み合わせ方や磁石の特徴から感じたこと、想像したことから表したいことを見つけ、動きや形や色などを生かしながらどのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい、磁石の動きを生かしたおもちゃをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
ふしぎな乗りもの	4	乗り物の形や色などの描き方を工夫する。 不思議な乗り物やお話を考える。 不思議な乗り物を描くことをたのしむ。	○不思議な乗り物を絵に表すことを通して、身近なものの形や色の感じがわかっていく。 ○不思議な乗り物の形や色を、自分の思いに合わせて、描き方を工夫して表している。	○身近なものからイメージを広げ、思いついた不思議な乗り物やお話を考えている。 ○形や色、その組み合わせや構成のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	想像を膨らませることに関心をもち、不思議な乗り物を描く学習活動に進んで取り組もうとしている。
トントンくぎ打ちコンコンビー玉	4	釘の打ち方や材料のつけ方を工夫する。 ビー玉が転がるたのしいコースを考える。 釘打ちの心地よさを味わいながら、みんなでコースづくりをたのしむ。	○金づちを使って釘を打ったり、材料を打ちつけたりしながら、形や色の感じがわかっていく。 ○釘や金づちを適切に扱い、釘の打ち方や材料のつけ方を工夫して表している。	○ビー玉が転がるコースを考えながら、つくりたいものやイメージを広げ、釘の位置を試したり、ビー玉の動きを確かめたりしながら、転がるとたのしい仕組みを考えている。 ○自分や友達がつくったコースで遊び、それぞれのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	釘を打つ感触を味わい、友達と協力して、コースをつくりだす学習活動に進んで取り組もうとしている。
のこぎりザクザクつないでついで	6	のこぎりの使い方を知り、木切れの組み合わせ方を工夫する。 木切れを組み合わせたつくりたいものを作る。 のこぎりで角材を切ったり、木切れを組み合わせたつくりたいものをたのしむ。	○のこぎりで角材を切りながら、いろいろな角材の形の感じがわかっていく。 ○のこぎりの扱いに慣れ、安全な持ち方や切り方を覚えて、木切れの組み合わせ方を工夫して表している。	○切ってきた形の感じから想像を広げ、つくりたいものについて思いつき、どのように組み合わせるかを考えている。 ○自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	木の感触を味わい、のこぎりで角材を切り、木片を組み合わせる学習活動に進んで取り組もうとしている。
うつつてふえるよでこぼこさん	4	版のつくり方や写し方を工夫する。 どんな「でこぼこさん」にするか考える。 版をつくり、写したりすることをたのしむ。	○身近にある凹凸のある材料を集めたり、版に紙に写したりすることを通して、表れる形や色の感じがわかっていく。 ○身近にある凹凸のある材料を組み合わせた版のつくり方を工夫している。	○「でこぼこさん」を想像して版の形を考えたり、イメージを広げて写し方を考えたり、写したのから想像を広げたりしている。 ○友達と作品を見せ合い、よさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	身近な材料の凹凸に関心をもち、「でこぼこさん」をつくりだす学習活動に進んで取り組もうとしている。
みんなでオン・ステージ！	6	楽器の形や色、つくり方を工夫する。 どんな楽器にするか考える。 友達といっしょにつくり、演奏したりすることをたのしむ。	○空き箱と輪ゴムを組み合わせた形や色などの感じがわかっていく。 ○箱や角材などの材料や用具を適切に扱い、これまでの木や接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に動かして、表したい楽器に合わせて表し方を工夫して表している。	○輪ゴムのかけ方やネックの取りつけ方、空き箱や容器の特徴から感じたことや想像したことから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい、楽器づくりをしたり友達と演奏したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。